

# 2023年3月期 連結決算説明会

2023年5月19日

 株式会社 シード



証券コード  
7743

- 1. 2023年3月期 決算概要**
- 2. 2023年3月期 トピックス**
- 3. 2024年3月期 見通し / 財務実績**
- 4. 参考資料**

- 1. 2023年3月期 決算概要**
2. 2023年3月期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し / 財務実績
4. 参考資料

## 国内

- ・社会活動の正常化に伴い、需要はコロナ前の水準まで回復。
- ・半導体不足に端を発する生産設備投資の制約が供給力に影響し、国際物流網の混乱等も生じていることから、市場全体では商品の供給不安も散見される。

## 海外

- ・資源価格の高騰に起因する物価上昇や供給不安が世界共通の問題ではあるが、ウィズコロナの考えに基づいた行動緩和策が取られ、国や地域による差異はありながらも回復傾向にある。
- ・中国市場においては、人やモノの流れへの厳しい移動制限が解除されたものの、長期のゼロコロナ政策が経済全般に深刻な後遺症を与えており、コンタクトレンズの販売活動も大きな影響を受けた。

### 環境変化に適応した対応の強化

- SNSを通じた広告宣伝を行う等、消費者への直接の需要喚起を実施
- 海外取引先および現地法人への訪問等、海外売上規模の拡大と損益改善
- 遠近両用コンタクトレンズやオルソケラトロジーレンズ等の成長性のある高付加価値商品の拡販に注力
- 生産ラインの稼働率向上と出荷金額の絶対量の確保を目的として主要量販店等へのOEM供給を実施

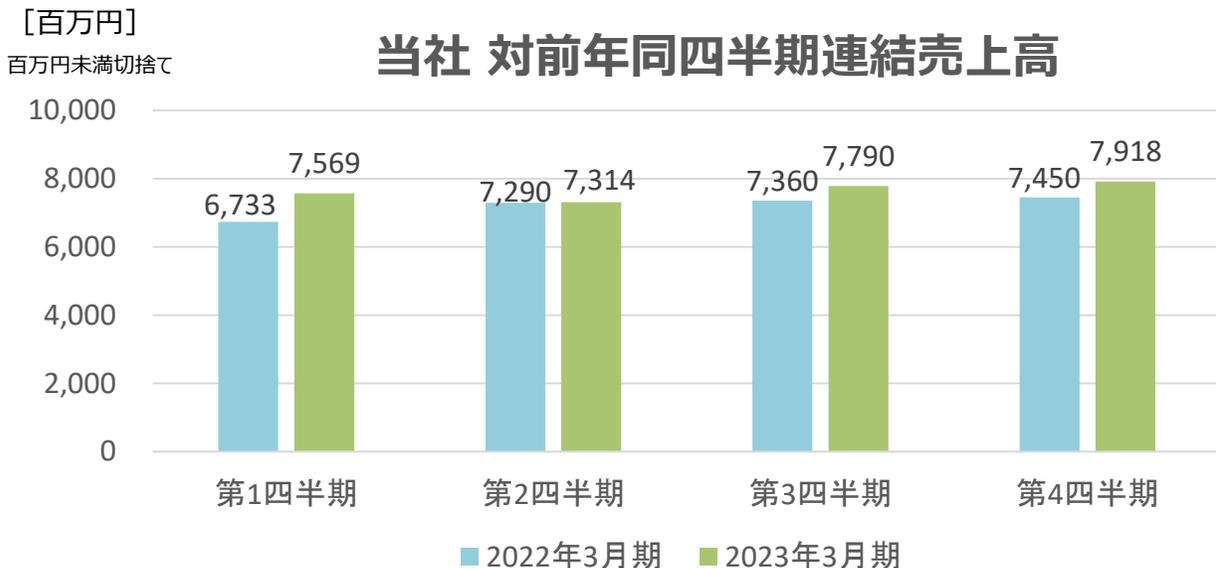
# 2023年3月期 連結決算ハイライト

連結 [百万円] 百万円未満切捨て	2021/3期	2022/3期	2023/3期	前期比較		2023/3期 通期見通し	進捗率
				増減額	増減率		
<b>売上高</b>	28,617	28,835	<b>30,593</b>	+1,758	+6.1%	31,000	98.7%
「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合		29,580	31,104	+1,523	+5.2%		
<b>営業利益</b>	1,195	1,177	<b>629</b>	△547	△46.5%	820	76.8%
(営業利益率)	4.2%	4.1%	2.1%	-	△2.0%	2.6%	-
<b>経常利益</b>	1,211	1,138	<b>554</b>	△585	△51.3%	700	79.2%
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	1,129	1,153	△ <b>316</b>	△1,470	△127.4%	320	-

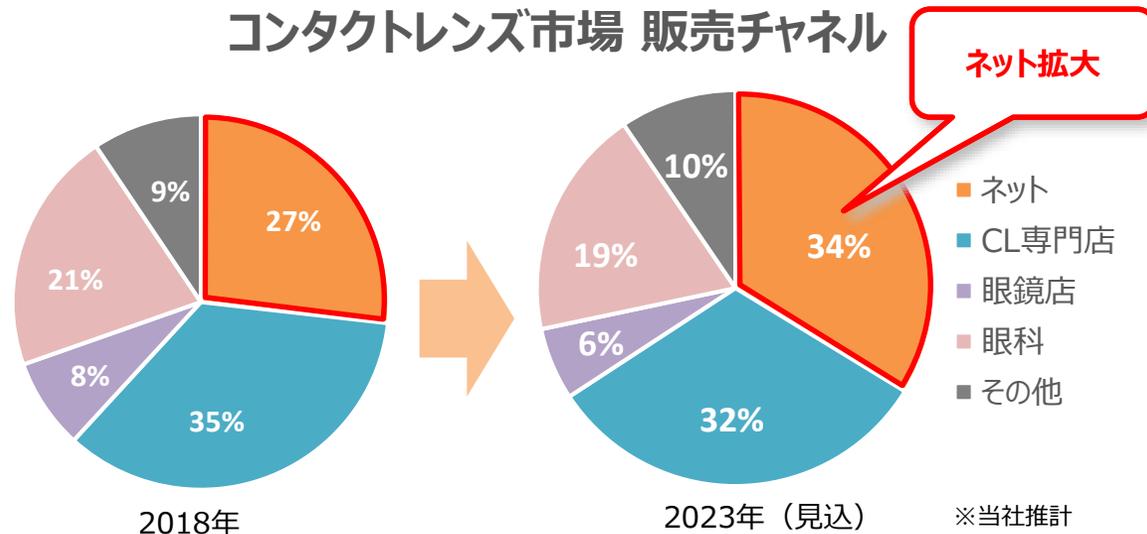
<b>売上高</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内のコンタクトレンズ販売が伸長したため、売上高は305億円（前年同期比6.1%増）</li> <li>・オルソケラトロジーレンズは市場が着実な成長を示し、前年同期比19.9%増と大きく伸長</li> </ul>
<b>営業利益</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販管費は圧縮。在庫のうち出荷期限到来と終売商品の評価損計上、ウクライナへの軍事侵攻に起因したエネルギー価格および原材料価格の高騰による製造原価の上昇と、円安による商品輸入原価の高騰による原価の上昇により、粗利益が圧迫され営業利益は前年同期比46.5%減となった。</li> </ul>

コンタクトレンズ需要は順調に回復し、売上高は前期比で増加

## 当社 対前年同四半期連結売上高



## コンタクトレンズ市場 販売チャネル



## 対前年同四半期連結売上増減率

第1四半期 (2022年4～6月)	<b>+12.4%</b>
第2四半期 (2022年7～9月)	<b>+0.3%</b>
第3四半期 (2022年10～12月)	<b>+5.8%</b>
第4四半期 (2023年1～3月)	<b>+6.3%</b>

## 特記事項

コンタクトレンズ需要は順調に回復。価格改定に伴う駆け込み需要により、売上高前年同期12.4%増。オルソケラトロジーレンズは市場が着実な成長を示し、前年同期比13.7%と大きく伸長。

ウクライナ侵攻によるエネルギー価格の急騰と日本の成長力の減退や経済政策のスタンスの相違に起因する急速かつ極端な円安の進行も加わり、国内景気は再び不安定な状況。

オルソケラトロジーレンズの普及、ミドルエイジ以降の遠近両用及び乱視用コンタクトレンズ等の伸長により、市場は緩やかながらも着実に成長。一方で、中国市場では12月に「ゼロコロナ政策」の転換に舵を切ったものの同感染症の感染爆発により、個人消費の低迷。

コンタクトレンズ需要は、国内においては、コロナ前の水準まで回復。海外においては、物価上昇や供給不安はありながらもウィズコロナの考えに基づいた行動緩和策が取られ、回復傾向を示す。

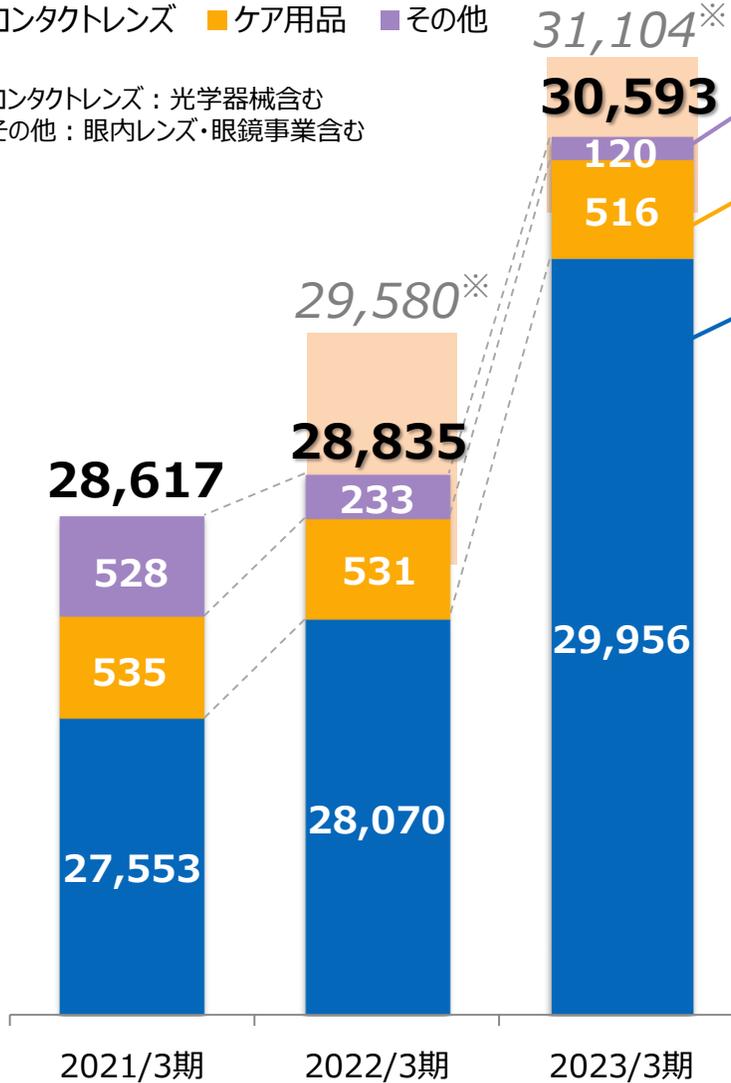
# 事業別売上高

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他

※コンタクトレンズ：光学器械含む  
※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合

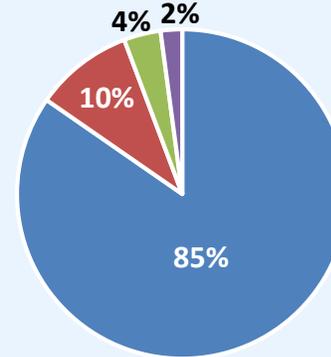
✓ 眼鏡卸売事業から撤退したため前年同期比48.2%減

✓ オルソケラトロジーレンズ関連のケア用品は増加したものの、使い捨てタイプへのシフト等の影響により前年同期比2.8%減

✓ 「ワンデーピュアシリーズ」の需要増等により前年同期比6.7%増

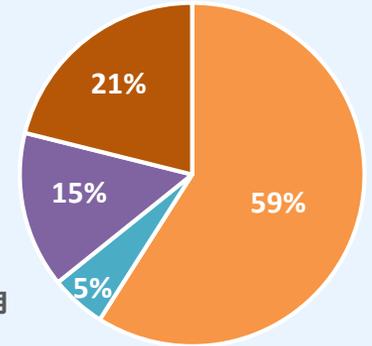
単体

売上高CLカテゴリー比率



■ 1day  
■ 2week  
■ コンベンショナルレンズ  
■ オルソ

売上高1dayカテゴリー比率



■ 近視・遠視用  
■ 遠近  
■ 乱視  
■ サークル・カラー

カテゴリー別対前期増減比率 (単体卸売ベース)

ワンデーピュア	13.4%増	2ウィークピュア	5.5%増
ワンデーファイン	4.8%減	サークル・カラー	6.8%減
オルソケラトロジー	19.9%増	遠近両用	19.2%増

※ワンデーファイン以外はシリーズ合計

※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計 (東レ製品は除く)

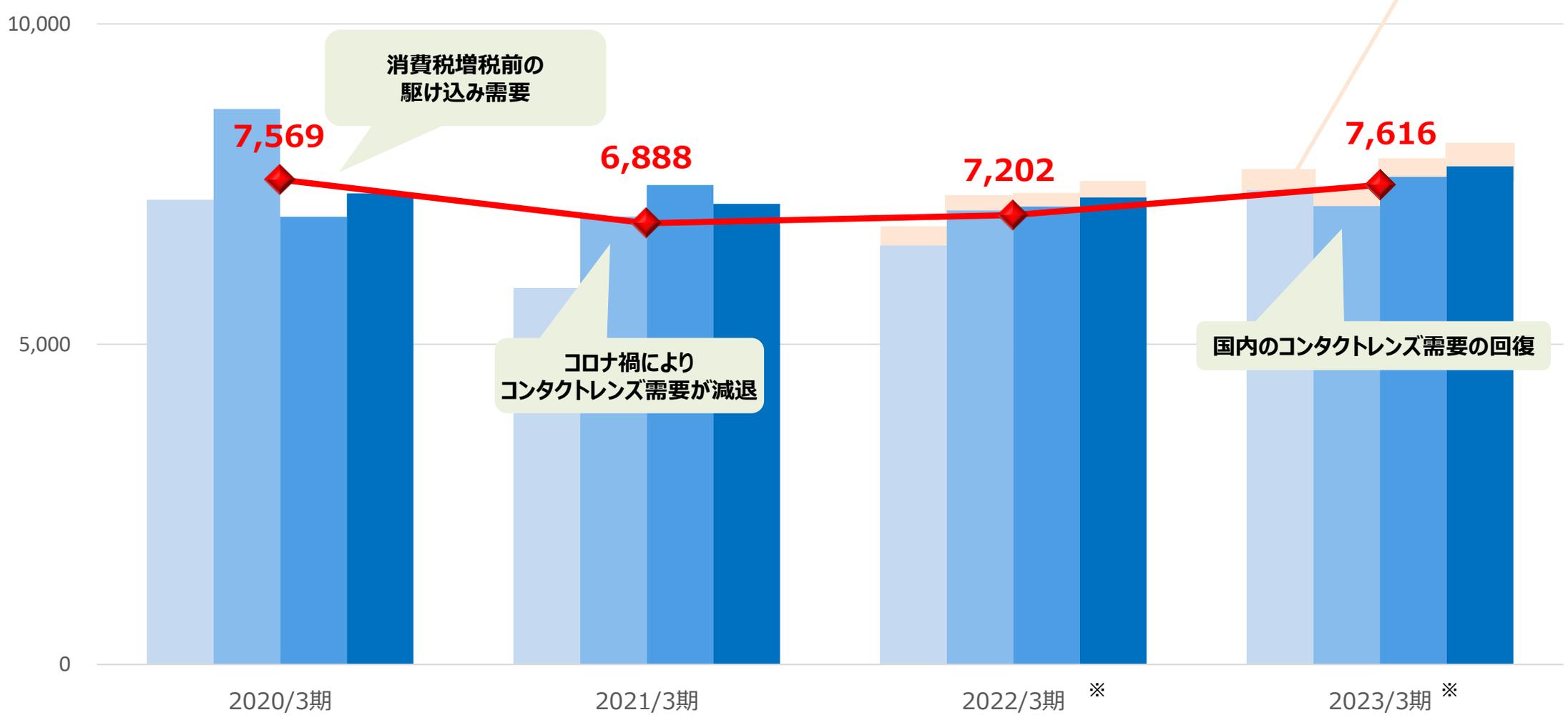
# コンタクトレンズ事業売上高 四半期推移

連結 ◇卸売りベース

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用前とした場合

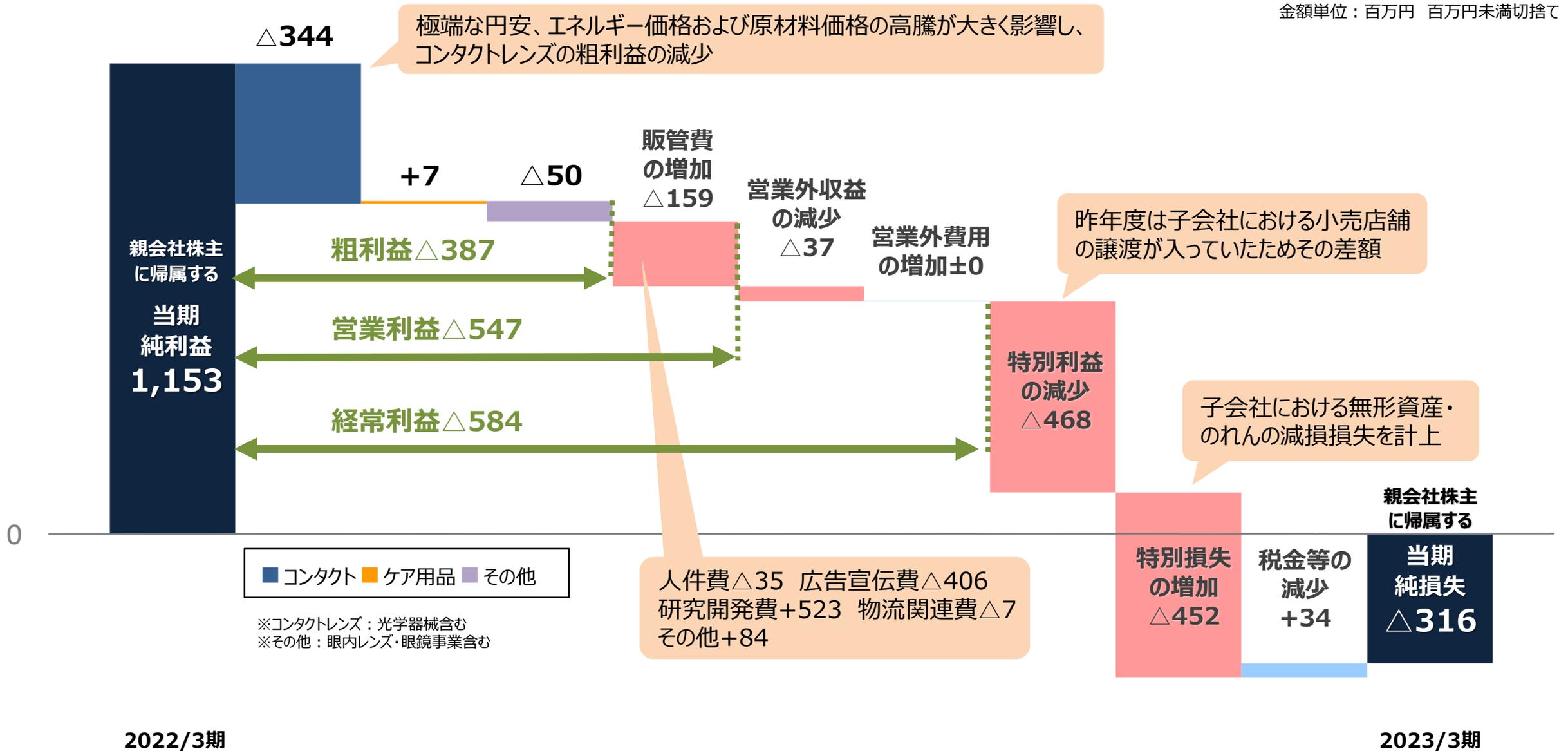
[百万円]  
百万円未満切捨て

1 Q 2 Q 3 Q 4 Q ◆ 四半期平均売上高



# 利益増減分析

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



連結

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	人件費	広告 宣伝費	研究開発費	物流関連費	その他	
2022年3月期 販管費実績	3,401	1,236	1,475	2,017	2,702	<b>10,831</b>
	△35 (99%)	△406 (67%)	+523 (135%)	△7 (100%)	+84 (103%)	+159 (101%)
2023年3月期 販管費実績	3,366	830	1,996	2,009	2,789	<b>10,990</b>

- 人件費：役員報酬等の減額により、前期比で減少
- 広告宣伝費：販売促進費の効率的運用により、前期比で減少
- 研究開発費：1dayPure EDOFの近視進行抑制に係る治験関係費用、スマートコンタクトレンズの開発費用などにより増加
- 物流関連費：国内売上高の伸長に伴う配送量の増加を輸送コストの見直しで吸収
- その他：ITインフラの強化、アフターコロナの営業活動再開による関連経費の増加、仮社屋の家賃等により増加

# 財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2022/3期		2023/3期		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>資産の部計</b>	<b>41,785</b>	<b>100.0</b>	<b>40,011</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 1,774</b>
流動資産	17,328	41.5	17,619	44.0	290
内 現預金	3,877	9.3	4,938	12.3	1,060
商品及び製品	6,006	14.4	5,476	13.7	△ 529
貸倒引当金	△100	-	△ 25		-
固定資産	24,457	58.5	22,392	56.0	△ 2,064
内 有形固定資産	20,395	48.8	19,173	47.9	△ 1,222
無形固定資産	1,869	4.5	1,202	3.0	△ 666
<b>負債の部計</b>	<b>29,253</b>	<b>70.0</b>	<b>27,865</b>	<b>69.6</b>	<b>△ 1,387</b>
流動負債	16,406	39.3	17,323	43.3	917
内 短期借入金	11,503	27.5	12,608	31.5	1,105
短期リース債務	1,075	2.6	1,025	2.6	△ 50
固定負債	12,847	30.8	10,542	26.3	△ 2,305
内 長期借入金	6,736	16.1	5,040	12.6	△ 1,695
長期リース債務	2,726	6.5	2,215	5.5	△ 510
<b>純資産の部計</b>	<b>12,532</b>	<b>30.0</b>	<b>12,145</b>	<b>30.4</b>	<b>△ 386</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>41,785</b>	<b>100.0</b>	<b>40,011</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 1,774</b>

製品在庫の適正化

建物、機械、器具の償却

事業規模の拡大に伴う  
運転資金の調達

借入金の返済

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2022/3期	2023/3期	前期比較
<b>営業活動によるC・F</b>	<b>3,266</b>	<b>3,346</b>	<b>80</b>
内 税金等調整前四半期純利益	1,447	△ 57	△ 1,505
減価償却費	2,763	2,584	△ 178
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 244	500	745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 37	90	128
<b>投資活動によるC・F</b>	<b>△ 881</b>	<b>△ 440</b>	<b>440</b>
内 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△ 410	—	△ 410
有形固定資産取得	△ 1,097	△ 447	650
無形固定資産の取得	△ 19	△ 19	0
事業譲渡による収入	592	150	△ 441
有形固定資産の除却による支出	—	△ 92	△ 92
<b>財務活動によるC・F</b>	<b>△ 2,423</b>	<b>△ 1,818</b>	<b>604</b>
内 短期借入金の純増減額	△ 219	1,089	1,308
長期借入金の借入	1,042	504	△ 537
長期借入金の返済	△ 1,971	△ 2,261	△ 290
リース債務の返済による支出	△ 994	△ 946	48
<b>現金及び現金同等物 四半期末残高</b>	<b>3,877</b>	<b>4,938</b>	<b>1,060</b>

製品在庫の適正化

[2022年3月期 1 Q]  
(株)ユニバーサルビューの  
株式取得

[2022年3月期 2 Q]  
(株)アイススペースの  
事業譲渡

本社の地上解体工事費

事業規模の拡大に伴う  
運転資金の調達

[2022年3月期 1 Q]  
(株)ユニバーサルビューの  
株式取得を目的とした借入

# キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結

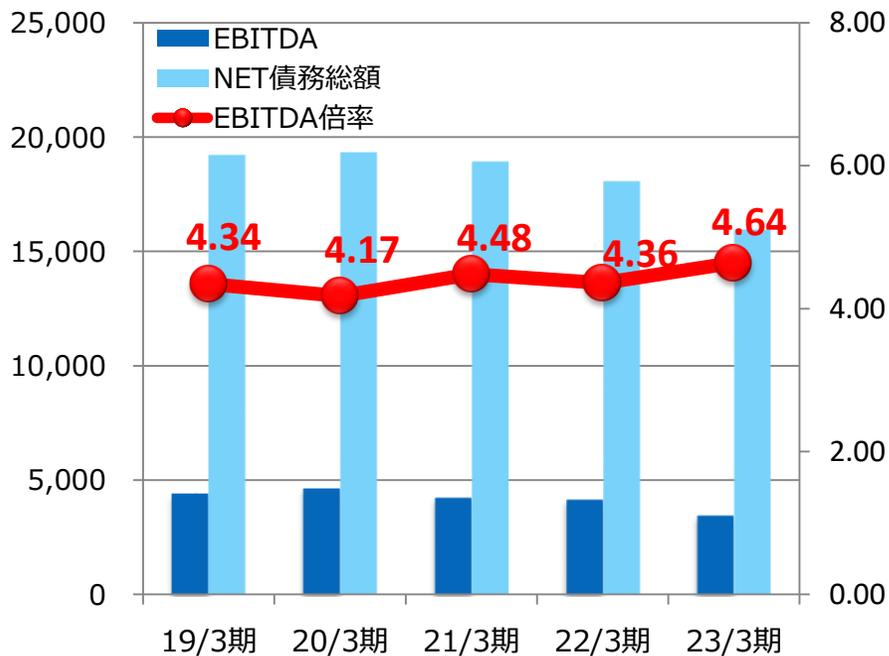
[百万円] 百万円未満切捨て

※2021年3月期以前については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等適用前の数値

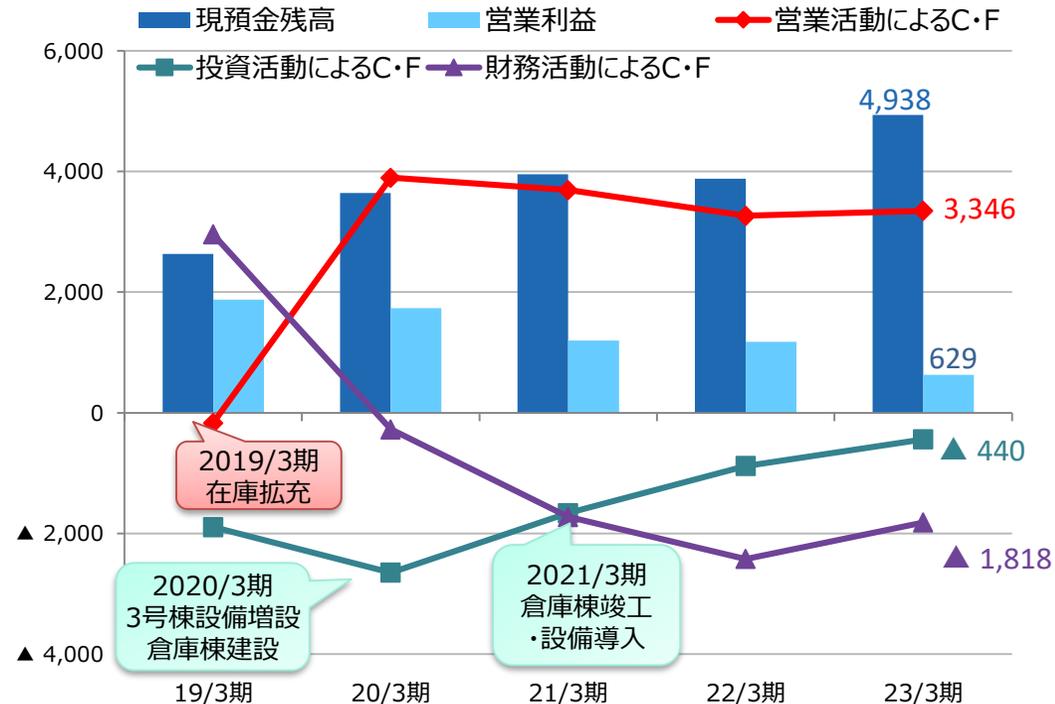
	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
<b>EBITDA</b>	<b>4,415</b>	<b>4,621</b>	<b>4,218</b>	<b>4,140</b>	<b>3,438</b>
<b>EBITDAマージン</b> EBITDA÷売上高	<b>15.0%</b>	<b>14.5%</b>	<b>14.7%</b>	<b>14.4%</b>	<b>11.2%</b>

[百万円]

百万円未満切捨て



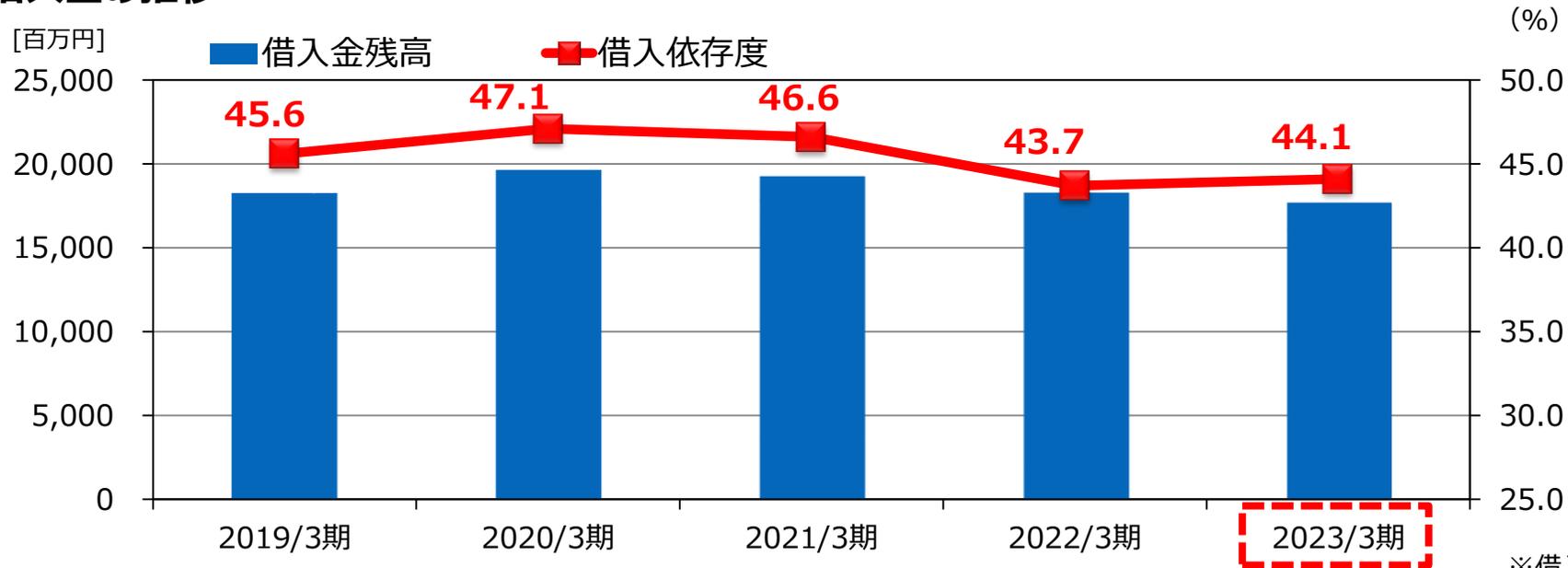
[倍]



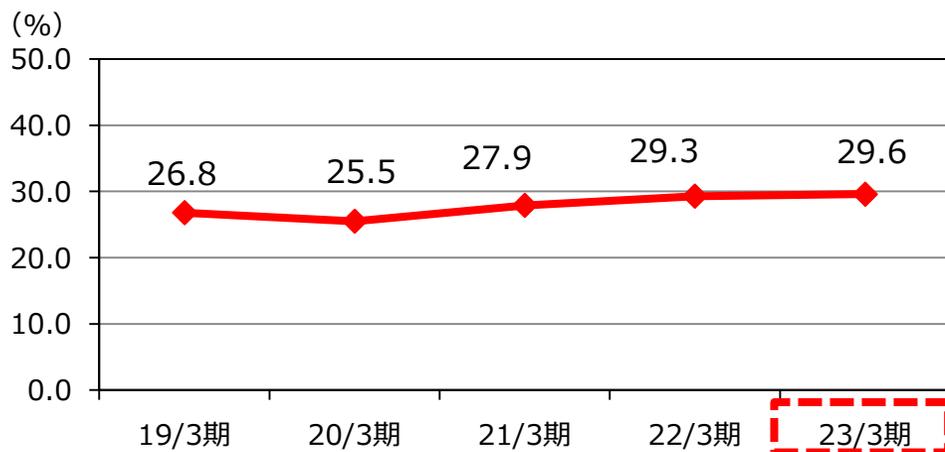
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

連結

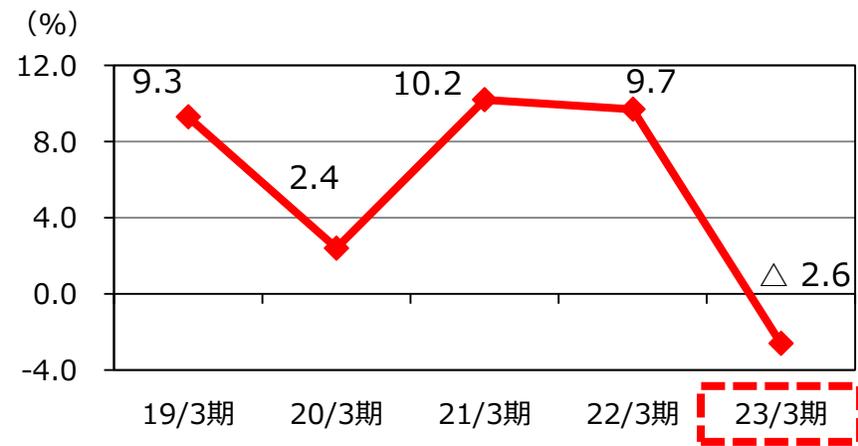
## ◆借入金の推移



## ◆自己資本比率



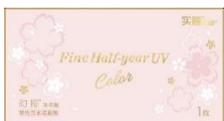
## ◆自己資本当期純利益率 (ROE)



# Made in Nippon Japan Qualityを世界へ

アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に  
**40以上の国と地域**に展開中

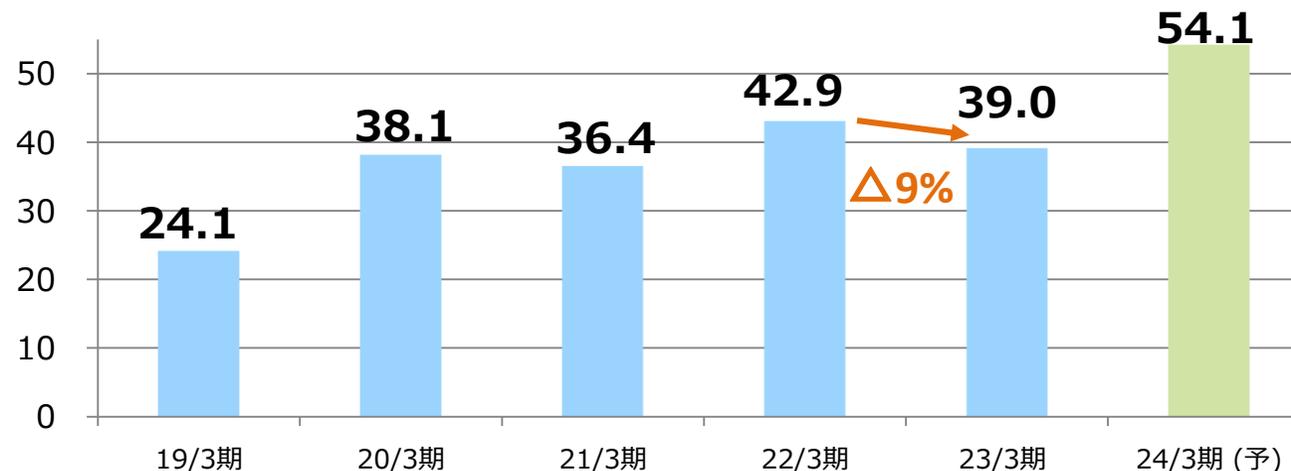
## 主な海外商品



東南アジア、欧州では前年比増収となるも、海外事業を牽引している中国市場での一時的需要減退の影響により対前年度マイナスに至った

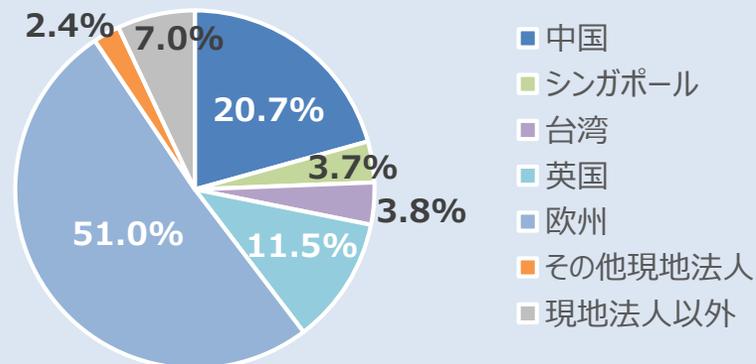
## 海外売上高推移

[億円]



※現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

## 海外売上高構成比 (2023/3期)



海外取引先への現地訪問、対面による情報交換会や展示会を実施しています。

1. 2023年3月期 決算概要
- 2. 2023年3月期 トピックス**
3. 2024年3月期 見通し / 財務実績
4. 参考資料

異なる特性を持った2種類のシリコンハイドロゲルレンズをラインナップに加えてワンデー市場のシェアを高める

シード初の国産シリコンハイドロゲルレンズ  
シード1daySilfa (ワンデーシルファ)

## 酸素と水のバランスで、心地よさを叶えるレンズ



酸素流量率96% ※1  
含水率68% (柔軟性)

装用感



※1 酸素流量率 = コンタクトレンズ装用時に角膜に届く酸素の量 / 裸眼時に角膜に届く酸素の量  
A Model of Oxygen Flux : Brennan 2001 (開眼時) に基づく中心部における測定 (-3.00Dの場合)

※2 2022年6月～12月までの国内モニターアンケート結果(n=122)より質問項目に対し  
快適、やや快適、現在使用レンズとかわらないと回答した割合

2021年2月 欧州一部地域で販売開始  
2022年7月以降 九州(沖縄を除く)・四国・中国エリアから販売開始 順次販売地域拡大予定

1日使い捨てシリコンハイドロゲルレンズ  
シード AirGrade 1day UV W-Moisture  
(エアグレード ワンデー UV ダブルモイスター)

## 優れた酸素透過率やWの保湿成分を配合

2022年  
8月23日  
全国販売



Dk/L値 = 187 ※3  
アルギン酸 / ヒアルロン酸配合

装用感



※3  $\times 10^{-9}(\text{cm}/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2 / (\text{mL} \times \text{mmHg})) (-3.00\text{Dの場合})$

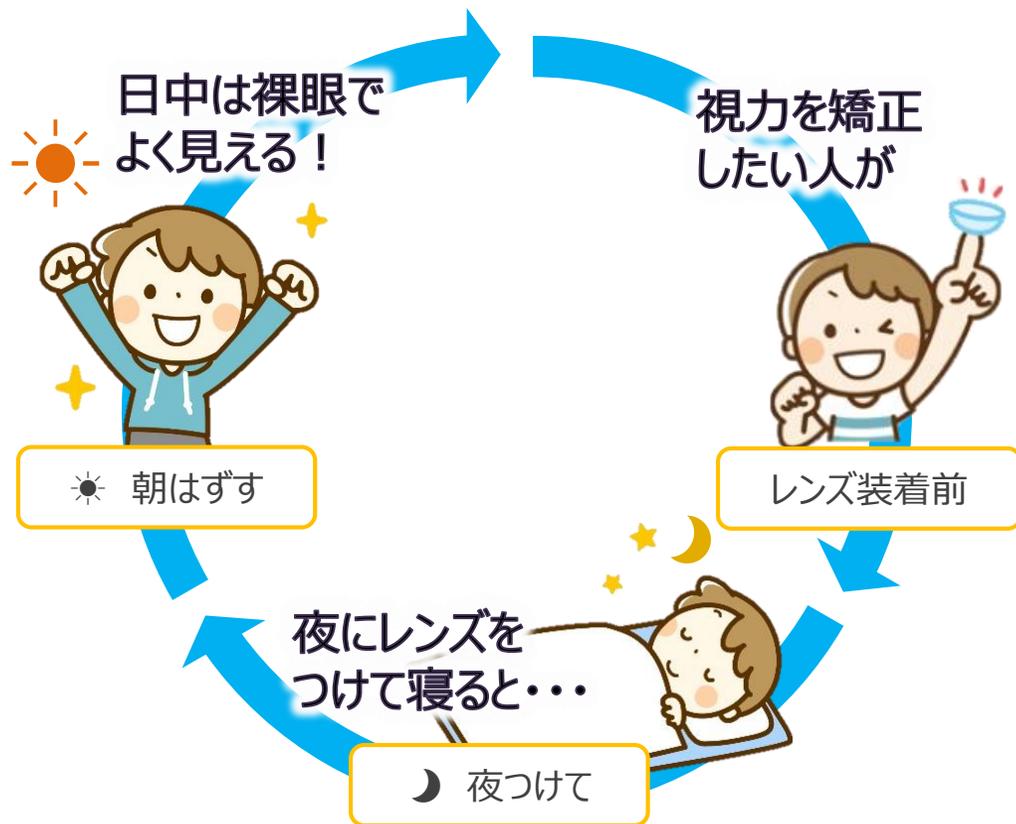
※4 2022年8月～2023年1月17日までの国内モニターアンケート結果(n=728)より質問  
項目に対し快適、やや快適、現在使用レンズとかわらないと回答した割合

NEXT ... 次世代の自社国内組成シリコンハイドロゲルレンズも開発中

## 寝ている間に視力矯正ができる オルソケラトロジーレンズ

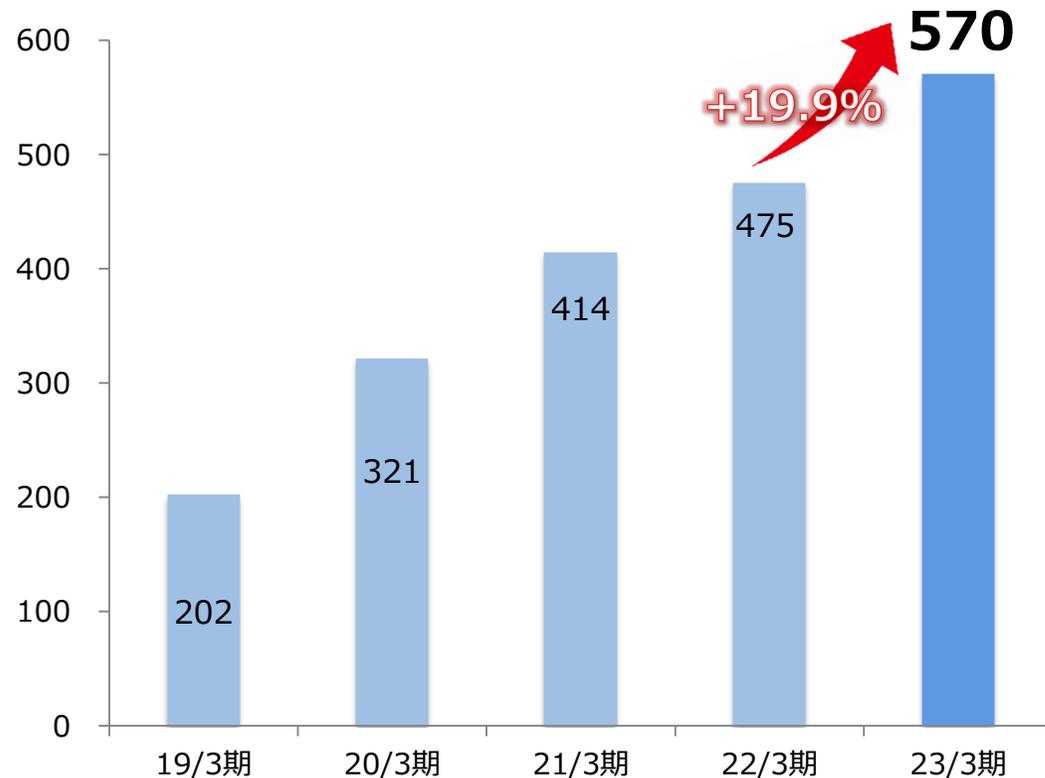
寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、外した後も裸眼で過ごすことができる治療法。

国内での  
マーケットシェア率  
**50%以上**  
※当社推計



[百万円]  
百万円未満切捨て

### オルソケラトロジーレンズ売上



### 国内外での 販売状況

- 販売中：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州（Wöhlk社製品を販売）
- 準備中：中国の合併会社へWöhlk製造のレンズ材料を提供する形で事業参画（申請中）

● **ブリスターのリサイクル活動** 使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト



## BLUE SEED PROJECT ~海に愛 (Eye) を~



お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者に販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。  
(サーキュラエコノミーの実現)

これまでに **5,915kg** の  
ブリスターを回収  
(2023年5月11日現在)



▶ **リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付**

眼科・販売店（関連子会社含む）822施設、企業36社、学校4校に回収箱設置のご協力をいただいております、順次拡大中

2023年3月期に新たにご協力いただいた施設：眼科・販売店（関連子会社含む）580施設、企業18社、学校3校

本社老朽化による建替えのため、環境への配慮、地域との共生を図り、従業員が能力を発揮できる快適な就業空間を提供し、100年続く事業の礎となるべき拠点として、新本社ビルを2024年5月に竣工予定



(仮称) シード新本社ビル 外観イメージ

- ☑ 本社部門（企画・営業・物流管理部門等）の業務効率化向上と組織活性化
- ☑ 採用活動での人材確保
- ☑ お客さまの教育研修体制整備による顧客満足度向上

## ●「グリーンローン・フレームワーク」策定

2024年5月に竣工予定である新本社ビル建設の資金調達を目的として、「グリーンローン・フレームワーク」を策定しました。

シード環境方針に基づいて環境に配慮し、また地域との共生をテーマとしたサステナブルな事業運営の象徴的な建物となるべく計画しています。

### <環境への配慮>

- 外壁裏面に環境性能の高い断熱材の採用
- 日射遮蔽型ガラスの採用
- 適切な照明
- 省エネ型の衛生機器
- 執務空間や会議室などの室内騒音を考慮した遮音性能設計
- 社員ひとり一人が自発性と創意工夫を発揮できる様々な働く場をデザイン
- 地域や社会とのつながる場を計画

環境認証：  
CASBEE Sランク（2022年12月取得）  
ZEB Ready（2023年2月取得）

弊社の一部サーバーに対して、2022年11月29日(火)に第三者からの不正アクセスが発生し、これまで外部の専門家の協力を得ながら調査を進めてまいりました。

### 本不正アクセスの原因と経路

外部専門家の見解を含めて総合的に検証した結果、システムメンテナンス用に設置していたネットワーク機器の脆弱性を突いた不正アクセスを受けた可能性が高いと判明しております。

調査の結果、弊社関係者の個人情報6件を含む弊社関連のファイル11件の漏洩が確認されております。現時点で上記以外の情報漏洩は認められておりませんが、他の個人情報漏洩の可能性を完全に否定することは難しいと判明したことから、二次被害が起きないことを最優先に考え、2023年4月18日(火)に弊社ホームページへの掲載および報道機関に向けたプレスリリースを実施いたしました。また、対象となる方には、4月中旬～5月中旬にかけて個別にご連絡をさせていただいております。

本不正アクセスに関しては、所轄の警察署および個人情報保護委員会等へ発生の経緯・状況を説明し、被害の相談・届出を行っております。なお、弊社システムは早期に復旧し、現在にいたるまで二次被害等、業務運営に支障をきたす事象は発生していません。

今後は厳重な情報セキュリティシステムの導入と、情報管理体制の強化により、再発防止の徹底に努めてまいります。



「『眼』の専門総合メーカーとして、お客様の『見える』をサポートする」  
を使命としているシードでは、スポーツ選手の「見える」と子どもたちの「夢」を応援します。

当社のコンタクトレンズの製造・研究開発拠点「シード鴻巣研究所」を構える埼玉県を本拠地とする埼玉西武ライオンズと協力し、2019年5月5日の“こどもの日”より試合前のハイタッチ企画初の協賛をスタートいたしました。当社のブランド認知度の向上にもつながっていくと考えています。

## ● 子どもたちの夢を応援します！ 試合前に憧れの野球選手をお出迎え 埼玉西武ライオンズ「SEED スターティングキッズ」

…埼玉西武ライオンズのホームゲームにおいて、試合開始前に子どもたちが各ポジションで選手をお出迎えする、埼玉西武ライオンズファンクラブのジュニア会員限定イベント

▶ 新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、  
2023年5月2日より4年ぶり対面で実施



子どもたちが着用するユニフォーム



2023年の実施風景

\*SEED Projects Of Road To Sportsの頭文字を取ると“SPORTS”になります。

高付加価値のコンタクトレンズ

遠近両用コンタクトレンズ・乱視用サークルレンズ  
 シード1dayPure EDOF ・ シード Eye coffret 1day UV M TORIC



スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュ センサー（角膜曲率変動測定計）
- ・トリガーフィッシュ（テレメトリー式生体信号測定装置）



肌に馴染みやすい色味に改良予定

手持ち式のレーザ網膜直描型デバイス

RETISSA®ON HAND（レティッサオンハンド）  
 《株式会社QDレーザ》



スマートフォン設置型眼撮影装置

METORI-50V



動物用眼底カメラ

oDocs nun  
 ※2022年10月26日発売



動物用バンテージコンタクトレンズ

わんタクト・にゃんタクト

近視チェック

《横浜近視予防研究所株式会社》



### 次世代商品の開発

- Personalization :  
 お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発
- 医療用デバイス :  
 内視鏡用フード等、コンタクトレンズの技術を活かした新たな分野に進出
- スマートコンタクトレンズ :  
 トリガーフィッシュ第2世代の開発
- 医薬品との融合 :  
 DDSコンタクトレンズ  
 （薬物徐放コンタクトレンズ）の治験実施中

近視進行抑制 :

近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOFを用いて治験を開始。オルソケラトロジーレンズについては治験準備中。国内外の大学にて臨床研究を実施中。

# プライム市場上場維持基準への適合状況の推移および計画期間

プライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」および「1日平均売買代金」について、基準を満たしていません。下表のとおり、2024年3月期末までに上場維持基準を満たすために、引き続き各種取組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 ※1	17,146人	104,318単位	81.4億円	41.6%	0.45億円
	2022年12月31日時点 ※2	—	—	—	—	0.16億円
	2023年3月31日時点 ※3	26,117人	107,167単位	55.2億円	42.8%	0.14億円
プライム市場 上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
2023年3月31日時点適合状況（当社試算）		適合	適合	不適合	適合	不適合
計画期間				2024年3月末		2024年12月末

※ 1 東証が2021年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

※ 2 東証が2022年12月31日を基準に算出したものです。

※ 3 当社が、流通株式時価総額については、2022年10月～2023年3月の平均株価により算出し、1日平均売買代金については2022年4月～2023年3月における取引所の株式相場表に記載の売買代金をもとに算出した額となります。

『中期3ヶ年（2021年4月～2024年3月）経営計画書～「見える」に新たな価値を～』の最終年度となる「**2024年3月期末**」までに、本計画書に記載する各種取組を進めてまいります。

1. 2023年3月期 決算概要
2. 2023年3月期 トピックス
- 3. 2024年3月期 見通し / 財務実績**
4. 参考資料

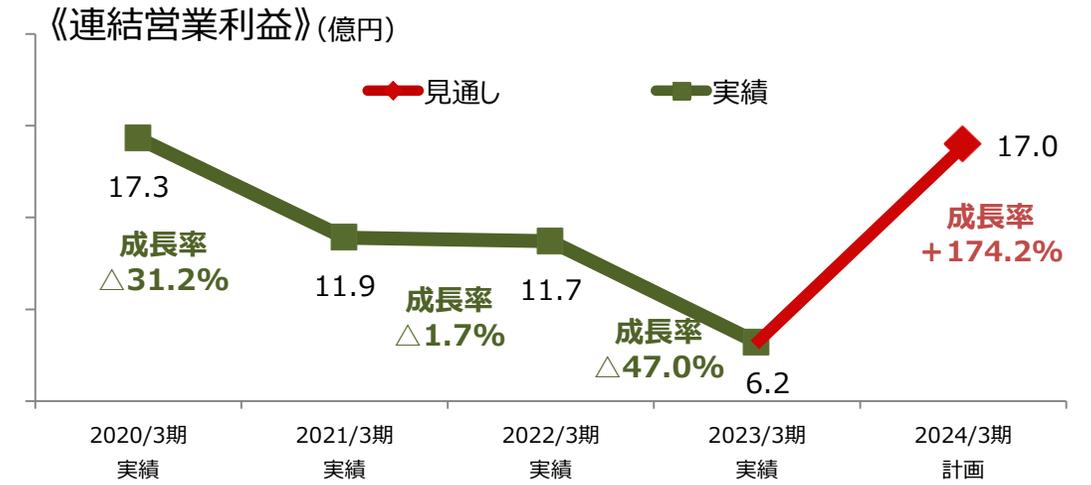
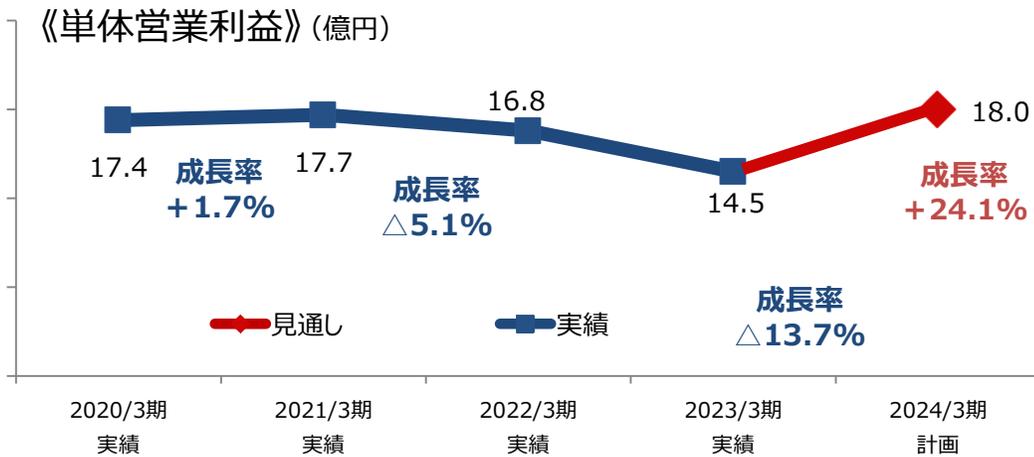
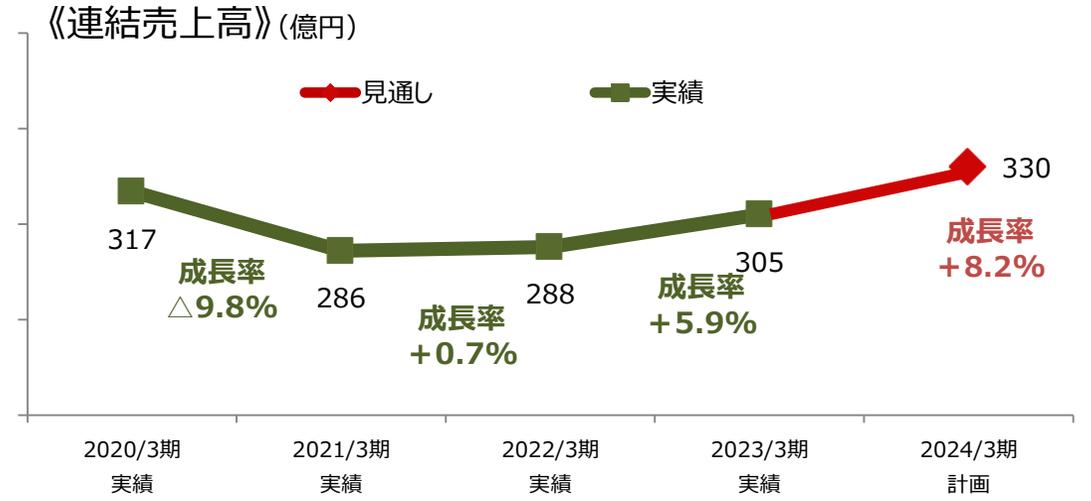
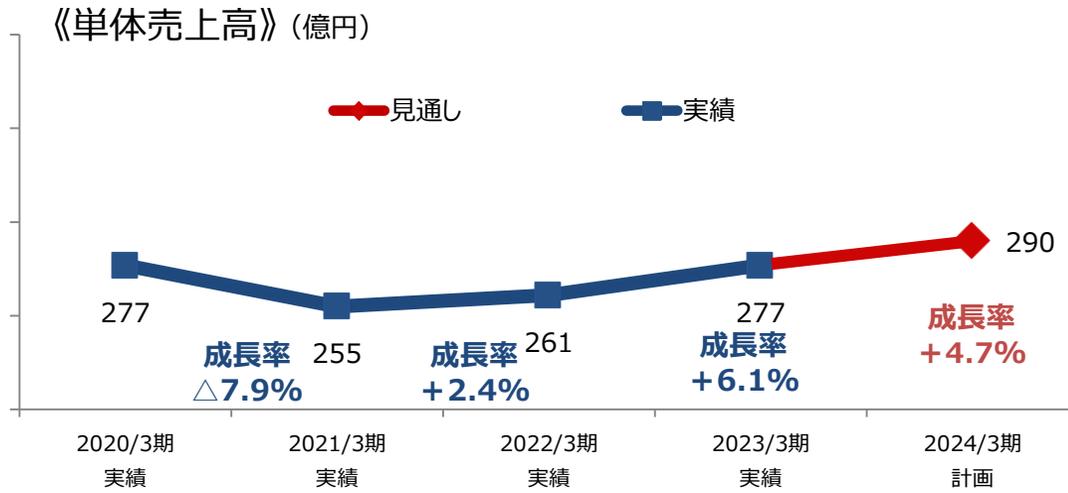
連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2023年3月期	2024年3月期見通し	＜参考＞ 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	30,593	<b>33,000</b>	+2,406	+7.9%
営業利益	629	<b>1,700</b>	+1,070	+169.9%
(営業利益率)	2.1%	<b>5.2%</b>		+3.1%
経常利益	554	<b>1,650</b>	+1,095	+197.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△316	<b>700</b>	+1,016	—

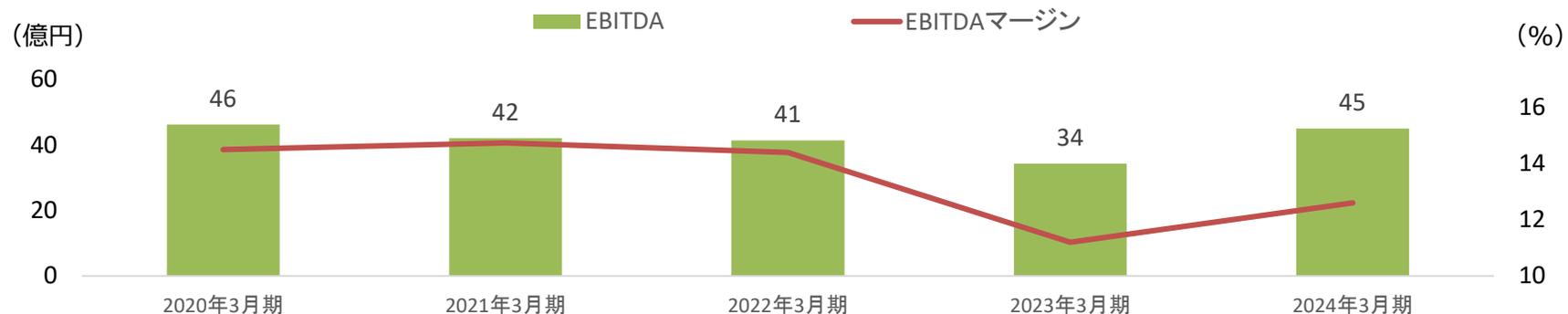
- 売上高
  - ・2023年3月期に発売した、異なる特性を持つ2種類のシリコンレンズの売上を拡大
  - ・オルソケラトロジーレンズのシェア拡大／乱視や遠近両用レンズといった高付加価値商品の比率を拡大
  - ・中国国内自社WEBサイト（旗艦店）、中国国外自社WEBサイト（越境EC）を有効活用することにより競争が激しい市場の中で収益力を向上
- 営業利益
  - ・製造ラインの増設、エネルギー効率の改善や歩留改善を行い原価低減を通じた粗利率の向上
  - ・破棄・工程内のムダ削減による粗利率の向上。
  - ・主要量販店等へのOEM商品の提供、生産ラインの稼働率を担保
  - ・近視の進行抑制効果をもつコンタクトレンズの開発や治験、スマートコンタクトレンズの第二世代モデルの開発等、今後の成長が見込まれる分野への研究開発については積極的に投資

# ～財務実績と見通し～



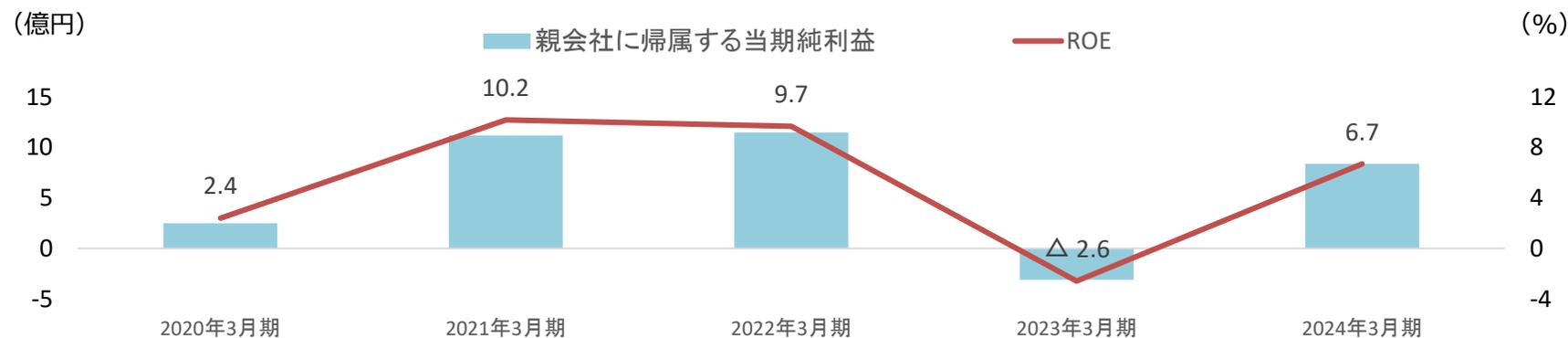
✓ 2024年3月期は国内向けシリコンレンズが売上を牽引し、連結売上高 330億円達成を見込む

## EBITDA



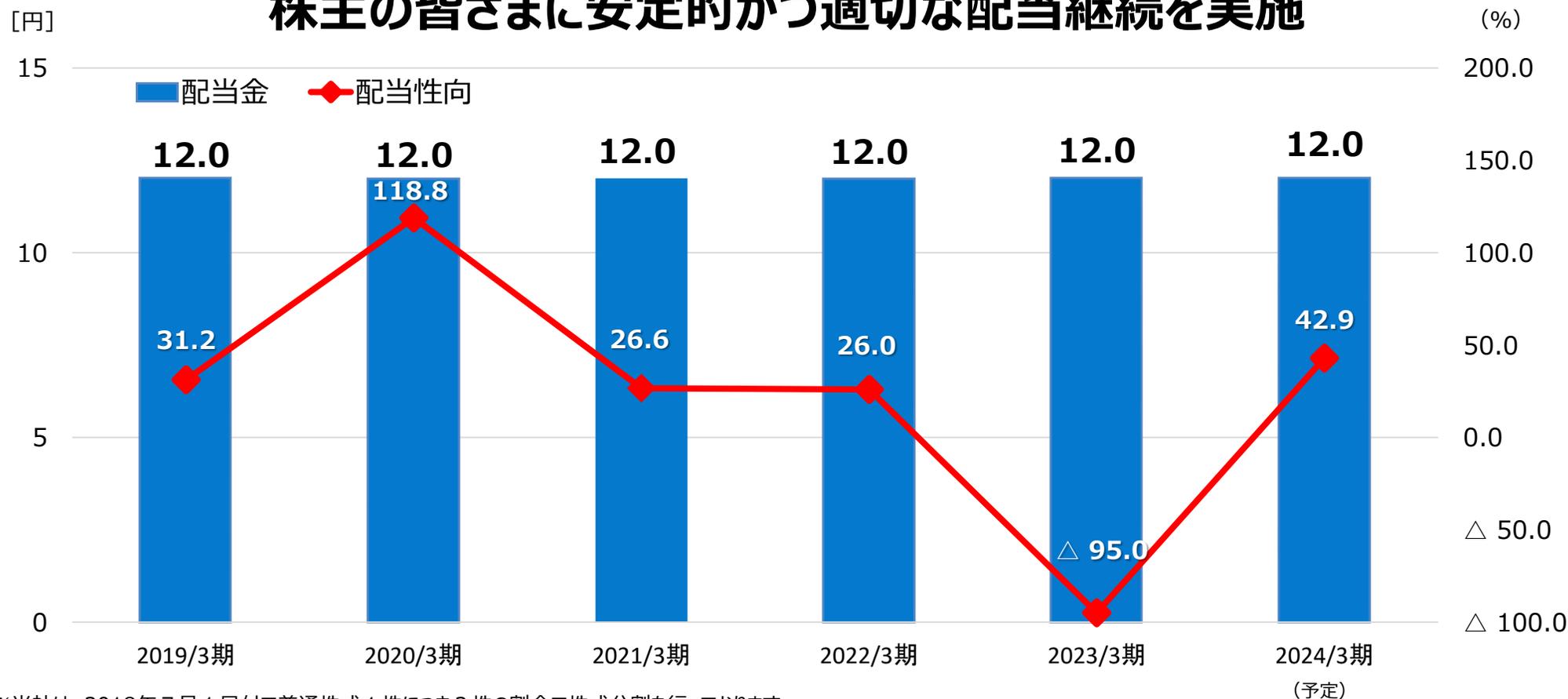
✓ キャッシュ創出力を強化し、将来EBITDA 50億円を目指す

## ROE



✓ 利益効率を高め、将来ROE 10%を目指す

## 株主の皆さまに安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を  
継続していくこと等を総合的に勘案

**1株あたり年間配当金額**  
1株につき **12円**

**配当利回り：2.1%**  
※2023年4月28日現在

1. 2023年3月期 決算概要
2. 2023年3月期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し / 財務実績
- 4. 参考資料**

## ～「見える」に新たな価値を～

最先端の技術を活用し、高機能・高付加価値の  
コンタクトレンズを開発し、市場に新しい価値を提供していく

### （中期計画の位置付け）

効率的な生産の実現と更なる品質の向上  
非価格競争力のある商品の開発  
連結売上高400億円への足場を固める

### （シードの主要施策）

**“『Made in Nippon』と『Japan Quality』のプライドを通じて  
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

- ✓ 日本国内での安定した成長と同時に、積極果敢な世界展開を実現
- ✓ 積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
- ✓ 省人化・自動化などの技術力の向上により、規模の拡大と多品種少量生産を実現
- ✓ 検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズで実現
- ✓ ダイバシティとインクルージョンの推進及びカーボンニュートラルへの取り組みを実施



本社	東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
設立	1957年10月9日（昭和32年）
上場	1989年12月（平成元年12月）
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	1,841百万円
従業員	974名（連結） ※2023年3月末現在
営業所	8（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他）、その他駐在11（盛岡・静岡 他） ※2023年3月末現在
工場・研究所	研究所：シード鴻巣研究所（埼玉県鴻巣市）

- 沿革
- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード（SEED）」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
- 2021年5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2022年10月 おかげさまで創立65周年



「東京コンタクトレンズ研究所」  
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



創立65周年

# コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

## ■純国産 シードPureシリーズ



シード1dayPure  
うるおいプラス



シード2weekPure  
うるおいプラス



シード1dayPure  
View Support



シード1dayPure  
EDOF



シード1dayPure  
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure  
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure  
マルチステージ



シード2weekPure  
マルチステージ

## ■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト  
シード Bi-Expert  
ユーソフト

## ■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ  
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ  
全3種

## ■オルソケラトロジーレンズ



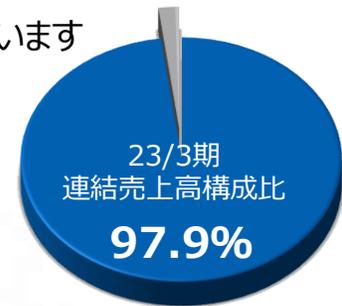
ブレスオーコレクト

## ■シリコンハイドロゲルレンズ

NEW シリコンハイドロゲル



シード1daySilfa



Made in Nippon



## ■ サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M View Support  
シード Eye coffret 1day UV M TORIC



ヒロインメイク 1day UV M

## ■ カラーレンズ



ベルミー

## ■ シリコンハイドロゲルレンズ

**NEW** シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture

## ■ Fine UV plusシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

## コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン  
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）  
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



**NEW**

フォレストリーフ うるおいW  
ソフトコンタクトレンズ用  
洗浄・保存・消毒・すすぎ液



ピュアティモイスト  
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用  
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW  
酸素透過性ハード・  
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

1.7%

23/3期  
連結売上高構成比



## 環境

- 太陽光発電システムの設置
- 水資源の有効活用
- 廃棄物の削減
- コンタクトレンズのプリスター（空ケース）の回収・再資源化



## 社会

- 企業主導型保育園の開設「ふくろうの森」
- 社会・地域との連携、次世代教育
- 働きやすい職場づくり
- 海外支援
- 労働安全衛生、品質管理体制



## ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス  
社外役員のサポート体制、  
各分野を専門とする人材を選定、  
海外グループマネジメント、内部統制、  
リスク・セキュリティ管理委員会等の設置



### — DBJ環境格付 Cランクを取得 —

株式会社日本政策投資銀行から「環境への配慮に対する取り組みが十分」と評価され、昨年引き続き格付を取得し、「DBJ環境格付」に基づく融資を受けました。  
当社は、今後も環境保全への取り組みを積極的に行い、サステナブルな社会やカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

## SNS

### シード公式



- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・会社や社員の様子
- ・CSR活動
- ・イベントの告知

### 【商品アカウント】

シード1dayPure View Support



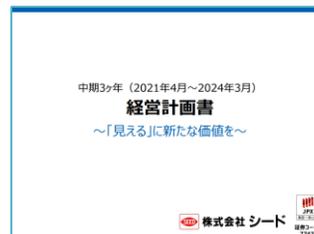
シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



## 当社HP



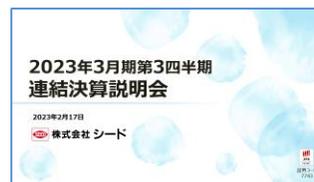
中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書



決算説明会資料



株主総会資料

## その他

2022年6月20日（月）より、個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

企業と個人株主・投資家をつなぐ



<https://sharebee.jp/>



## 国内子会社

\*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

## 海外子会社

\*上海実瞳光学科技有限公司 (中国)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中国)

\*上海実瞳健康科技有限公司 (中国)

上海実瞳視光医療科技有限公司 (中国)

\*香港実瞳健康科技有限公司 (香港)

\*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

\*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.  
(シンガポール)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD  
(マレーシア)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.  
(ベトナム)

\*SEED Contact Lens Europe GmbH  
(ドイツ)

\*Wöhlk Contactlinsen GmbH  
(ドイツ)

\*Wöhlk-Contact-Linsen Vertriebs GmbH  
(オーストリア)

\*Sensimed SA  
(スイス)

\*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.  
(イギリス)

\*Ultravision international Ltd.  
(イギリス)

※2023年4月現在

\* : 連結子会社

# SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。